

## はじめに

本報告書は、科学研究費補助金（基盤研究(A)(2)）による共同研究「東欧・中央ユーラシアの近代とネイション」（代表：林忠行、2000～2003 年度、課題番号：12301020）の研究成果であり、北海道大学スラブ研究センター研究報告シリーズによる刊行としては2001年5月に刊行された『東欧・中央ユーラシアの近代とネイション I』（同シリーズNo. 80）に続くものである。研究会の趣旨はすでに前報告書の「はじめに」で述べたので、ここでは省略する。

ここに収録された6本の論文は、2001年11月23～24日に開催された研究会で発表された報告をもとにし、各著者が研究会の後に加筆修正を行ったものである。なお、研究会での報告と討論については坂井弘紀氏による要約があり、インターネット上で公開されている（<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/IAS/Japanese/archives/1-han/2001/kenkyukai/011123.htm>）。

この報告集の最後に収録されているキム論文について説明を付しておく。この研究会では、国立民族学博物館地域研究企画交流センターの招きで来日していたゲルマン・キム教授（カザフ国立大学）にもご参加頂いた。キム教授は在外朝鮮人研究、とくに旧ソ連地域におけるこの問題の研究で広く知られ、数多くの著書、論文がある。キム教授にも、研究会での講演をもとに英語の論文を寄稿していただいた。なお、キム論文の編集では地域研究企画交流センターの帯谷知可氏にお世話になった。両氏に記してお礼を申し上げます。また両氏だけでなく、研究会に報告者、討論者、司会者としてご参加頂いたすべての方々にも感謝申し上げます。

この論文集は、本来であれば今年の夏までには刊行されねばならなかったが、諸般の事情と、何よりも編者の怠慢により、出版までに、研究会後1年3か月以上も経過してしまった。とくに、研究会終了後の早い段階で原稿を寄せて頂いた著者には深く、お詫びを申し上げます。

2003年3月

研究代表 林 忠 行